

滝川市の魅力！

滝川市の6月は、地域の豊かな自然と伝統文化が融合した魅力的な季節です。この時期に滝川市では、滝川祭りやサクランボ狩りなどが注目されます。まず、滝川祭りは、地域の伝統文化を祝う重要な行事です。滝川祭りは毎年6月と8月に開催され、地元の神社を中心に祭りが行われます。この祭りでは、地元の神社から神輿が渡御され、太鼓や笛、舞踊などの伝統的な芸能が披露されます。また、地域の子どもたちが浴衣や甚平に身を包み、練り歩く姿も見られ、滝川駅前のベルロードは3日間お祭り会場となって、にぎわいます。滝川祭りは、地域住民にとって大切な行事であり、観光客にも地域の伝統文化を体験してもらう機会となっています。

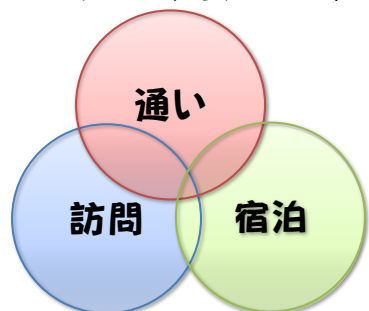
います。そして、もう一つのイベントがサクランボ狩りです。滝川市は、北海道有数のサクランボの産地であり、6月にサクランボ狩りのシーズンとなり、サクランボ畑が実りの実で埋め尽くされます。この時期には、多くの観光客が農園を訪れ、自らサクランボを収穫する体験を楽しむことができます。農園主たちは観光客を歓迎し、新鮮なサクランボの収穫体験や地元の特産品の販売などを提供します。

滝川祭りとサクランボ狩りシーズンの両方が重なり合い、地域の活気と魅力が引き出され、地元住民と観光客が一体となって楽しむこの時期は、滝川市ならではの魅力を存分に味わう絶好の機会なのではないでしょうか。

土筆・土筆の郷 各サービスのご紹介

▼小規模多機能型居宅介護

必要な時間に必要なことだけ利用できるサービスです。ご利用者様一人ひとりに合わせて時間や曜日もオーダーメイドすることが可能で、突然の利用や泊まりなどにも24時間365日対応いたしますので、安心して在宅生活が送れます。



通い 送迎やお食事の提供をはじめ、看護師による健康チェックや入浴・排せつ介助、レクリエーション、機能訓練などを行います。

訪問 スタッフがご自宅に伺い、その時の状況やご利用者のご希望などにより、お食事や入浴・排せつ介助、家事のお手伝いなど「通い」では支えきれない時間帯の支援をいたします。

宿泊 急な宿泊も可能で、ご利用者の様態に合わせてご利用できます。

スタッフ募集 土筆の花言葉「意外」「驚き」「向上心」

土筆は、利用者様や入居者様一人ひとりに寄り添い、介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活が出来る施設を目指しています。また、託児所が併設されているので、ご家庭に小さいお子様がいらっしゃる方も安心して短時間でも働く事が出来ます。土筆では、60歳を過ぎた方も現場で活躍しています。まだまだ現役で働きたい方、介護に興味のある方、私達の仕事を見学に来ませんか？お問い合わせだけでも大歓迎！まずはお気軽にお問い合わせください。（担当：小野）

■介護員（正社員・パート）

- ・小規模多機能型居宅介護
- ・グループホーム

■ホームヘルパー（パート）

- 資格・普通自動車運転免許
- ・介護職員初任者研修修了者または、ホームヘルパー2級以上 いずれか

福祉・介護の資格は必要ありません！
資格取得を目指す方のお手伝いも致します。

(有)ケア・コラボレートK・H

介護保険事業所 土筆

<http://tukushi-t.jp/>

〒073-0024

滝川市東町4丁目2番11号（土筆の郷）

☎ 0125-26-0294

FAX 0125-26-0200



June 2024



No.89 土筆広報誌 Spring news

▼サクラ🌸サクラ🌸♪（デイサービス土筆）



5月12日、放課後デイサービス いっぽ様から母の日にプレゼントを頂きました。子供たちからカーネーションの花を手渡されて、利用者様は感激されていたりしていました。みなさんともうれしそうな笑顔を見せて下さいました。いっぽ様ありがとうございました。



お花見



敷地内の桜も満開になった5月、天候にも恵まれ絶好のお花見日和となりました。暖かな春風に誘われて、普段は窓越しに眺めていた桜の元へ皆様、集まってくださいました。暖かな春風と青空のもと、皆様とてもよい笑顔で桜を眺めていらっしゃいました。庭の桜だけではなく、デイサービスでは、江部乙神社まで足を運び、小規模多機能は、北辰の森で桜並木を散策してまいりました。どの事業所でも、利用者様は、桜に負けないくらい、満開の笑顔を見せてくださっていました。



買い物レクリエーション

(小規模多機能型居宅介護 土筆の郷)



小規模多機能では、4月にご希望の多かった市内のダイソーへ買い物に行っていました。好きなお菓子や食品を選ばれる方、日用品など必要なものを購入した方、部屋に飾る小物などを見て回り、仲の良い方と一緒に買い物が出来て楽しかったと話される方「本当に何でもあるね。」「100円なんて信じられない。」見るだけでも、色々なものがあって楽しかったと喜んで頂けたようで「また行きたい!」とのお声を頂きました。



町内会一斉清掃

(土筆全事業所)



4月中旬、町内会の清掃でゴミ拾いに利用者様と一緒に参加させて頂きました。たばこの吸い殻などを熱心に拾ってくださる利用者様や少し大きめのゴミを見つけて「これもゴミだね?拾ってもいいの?」と声をかけてくださる利用者様もいらっしゃいました。途中で膨らみかけた桜の枝を見たり、によきによきと沢山伸びた“つくし”や“ふきのとう”を見つけたりと春の訪れを感じながらのゴミ拾いは、清々しく楽しく行うことができました。



災害に備えて 救急箱 を見直してみましょう

災害時には、打撲や火傷、切り傷などの外傷を負う場合もあります。また、大規模な災害が起きた際にはライフラインが止まってしまう可能性もあり、食料や生活物資の不足、体調管理の難しさから健康被害に悩まされるケースも少なくないようです。肉体面だけではなく精神的にも不安定になりやすくストレスから来る不調を感じることもあります。医療機関も平常時と違い、すぐに診察を受けられるかわかりません。いざという時に応急手当は自分たちで行う必要があります。自分の体を守るためにも救急箱の防災対策をしておきましょう。

1. 絆創膏 傷口の保護、止血、包帯を固定する場合にも使用できます。
2. 消毒液 傷口の殺菌・消毒をして感染症のリスク減らす事ができます。
3. ガーゼ、包帯、三角巾
4. 軟膏 やけど、切り傷、擦り傷、虫刺され、化膿止めなど。
5. はさみ 包帯やガーゼを切るだけではなく緊急時に衣服を切るなど、重宝します。

6. ピンセット トゲなどピンセットでしか取れないものがあります。また、患部に直接ふれずに済み衛生的です。
7. つめ切り 爪が割れたりした際に使用します。避難生活が長くなる場合にも衛生面から備えておく安心です。
8. 使い捨て手袋
9. 綿棒
10. アイスバック (瞬間冷却剤)

11. 常備薬

かぜ薬：特定の症状に効果のあるものより、総合かぜ薬を選ぶとよいでしょう。

胃腸薬：災害時には、食事が不規則になる事が想定されます。また、精神的なストレスを受ける事もあります。下痢止めと胃腸の消化を助ける薬を用意しておくとい良いでしょう。

解熱鎮痛薬：医療現場では、子供や妊婦の方には「アセトアミノフェン」が処方されています。



救急箱は、なるべくコンパクトにしておきましょう。薬の消費期限も日頃から確認しておくことが大切です。災害時のいざという時に使えなければ意味がありません。応急処置のできる救急箱があると災害にあった時の心の余裕も違いますので、ぜひ用意しておきましょう。